

令和 7 年 3 月 4 日

日野市教育委員会 殿

学 校 名 日野市立日野第三小学校

校長氏名 桐 井 裕 美

(公印省略)

令和 7 年度教育課程について (届)

このことについて、日野市立学校の管理運営に関する規則に基づき、特別支援学級(知的障害)の教育課程を下記のとおりお届けします。

記

1 教 育 目 標

(1) 学校の教育目標

- よく考える子ども(知識技能、思考力・判断力・表現力を身に付け、意欲的に学ぶ子供「問題解決力」、「学力向上」)
- ◎ 思いやりのある子ども(自己を律し、他と協調して、命を大切にする子供「人間関係形成力」)
- 体をきたえる子ども(自らの健康増進・体力向上に努め、運動に親しむ子供「実践力」)
- 最後までやりぬく子ども(苦難や逆境を乗り越えて人生を自ら創造していく子供「実践力」)

(2) 特別支援学級の教育目標

- 自立に向けて必要な知識、技能、態度及び基本的生活習慣を養う。
- ◎ 人とのかかわり合いを深め、集団の中で楽しく協力して生活できる力を養う。
- 健康な心身の発達や、体力の増進を図る。
- 目標をもち、粘り強く取り組む力を養う。

(3) 学校、学級の教育目標を達成するための基本方針

ア 教育活動全体を通し、個々の児童の自立を目指して基本的生活習慣を養い、基礎的・基本的な学習内容を計画的・系統的に指導するとともに、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善を行い、「授業のユニバーサルデザイン」を基に徹底する。また、研究授業で取り組む特別活動を重点に、思考力・判断力・表現力等の育成を重視した授業展開を図る。

イ 教育活動全体を通し、「自分も人も大切に生きて生きる」を合言葉に、人権教育を組織的・計画的に推進していく。児童が人との豊かな関わりの中で自分や他人を大切にする意識を育み、“いのち”や人権を尊重する精神や態度を育てる。異年齢集団のよさを生かし、共感的で肯定的な人間関係をつくることができるようにする。

ウ 体を動かすことの楽しさを味わわせ、体力の向上を図り、生涯にわたる健康づくりの基礎をつくる。家庭・地域と連携し、性教育や食育教育を進めていく。

エ 児童の実態を的確に把握して個に応じた目標を設定し、個別指導計画や「かしのきシート」(個別の教育支援計画)を作成・活用することで指導の充実を図り、児童自身が目標をもってやるべきことに取り組めるようにする。知識や技能を確実に定着させるとともに、学び合い、教え合いの中で児童一人一人が自己肯定感、達成感をもてるようにする。

2 指導の重点

(1) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動、各教科等を合わせた指導の重点

ア 各教科

- ・児童の実態や興味・関心に基づき、学習内容を焦点化、視覚化、共有化し、「授業のユニバーサルデザイン」を基に分かる喜びを体感できるよう授業改善を行う。
- ・個別指導計画に基づいた国語や算数の学習を通し、基礎的な学力の定着を図る。
- ・全体での学習、学習課題によるグループ学習、学年集団での学習、個に応じた指導を適切に取り入れた学習等多様な学習形態を取り入れ、学び合える学習を工夫する。
- ・自分の思いや考えを書いたり、伝えたり、小集団で話し合ったりする学習を通して、思考力、判断力、表現力等を身に付ける。
- ・学習の中に自分で選んだり決めたりする場面を設定し、自己決定の力を付ける。
- ・国語科では、読みの流暢性を高める学習として、動作化を取り入れた活動を工夫し、促音拗長音の定着を図る。
- ・学校図書館司書との連携を深め、読書活動や探究活動などの学習活動の充実を図る。
- ・体育科では毎時間、柔軟体操、体幹運動、持久走を取り入れ、運動に親しみ心身の健康を保持し体力の向上につなげる。

イ 道徳科

- ・児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、授業形態を工夫し、自分の考えを基に話し合ったり、書いたりできるようにする。
- ・「自分も人も大切に生きて生きる」人権教育の視点を基に「生命の尊さ」、「親切・思いやりの心」等豊かな心を育む道徳教育を行う。また、自他を大切にすることはどういうことかを考え、道徳的判断力、心情、実践意欲の育成を図るとともに、人権感覚をもてるようにする。

ウ 外国語活動

- ・ALT を活用し、英語の歌やリズム遊びを通して楽しみながら英語の表現に親しめるようにする。
- ・外国語活動を通して、言語や文化について体験的な理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする基礎及び素地となる資質・能力を育てる。

エ 総合的な学習の時間

- ・探究的な学習の過程において、協働して課題を解決しようとする学習やまとめたり表現したりする学習において ICT を活用し、「表現力」、「生活に生かす力」の育成を図る。
- ・和太鼓等の体験を通して日本の伝統・文化理解教育を行う。
- ・SDGs カレンダーを基に、自然体験や社会体験、様々な交流活動など、体験的学習を積極的に取り入れる。

オ 特別活動

- ・係活動や当番活動、班活動などの体験活動を通し、所属感や自己肯定感がもてるようにする。
- ・話し合い活動を通して、お誕生日会、お楽しみ会、おわかれ会等の企画運営を行っていく。
- ・学校行事、学級活動、交流及び共同学習、クラブ活動、委員会活動、異年齢なかよし班活動、その他の活動を通し、集団の中での人との関わりの楽しさを味わわせ、集団の一員であることを感じられるようにする。

カ 自立活動

- ・健康の保持や心理的な安定に関わる学習及び、コミュニケーション能力や全身の協応性、手指の巧緻性を高める活動を行い、自立を見据えて、個々の障害による学習上又は生活上の困難を克服できるようにする。自立活動の指導は、各教科や道徳科、特別活動、総合的な学習の時間等、教育活動全般を通じて行う。

キ 各教科等を合わせた指導

- ・総合的な学習の時間・生活単元学習を中心に年間を通して和太鼓の学習に取り組み、日本の伝統・文化に触れさせる。
- ・生活単元学習では、校外歩行等の活動を通し、安全に歩行できるようにするとともに、公共のルールやマナーを守り、安全に気を付けて生活しようとする態度を身に付けさせる。
- ・生活単元学習では、自分たちで育てた野菜を使った調理等の作業を通し、日常生活に必要な技能や態度を身に付けさせる。
- ・生活単元学習では、宿泊学習を通して身近自立を促し、共同生活の楽しさを味わわせる。

(2) 生活指導の重点

- ・基本的な生活習慣の育成を図り、家庭と連携を深めながら生活面での自立を図る。
- ・少人数の異年齢集団での活動を通して上級生は下級生の手本となり、下級生は上級生に憧れる関係をつくり、よりよい人間関係を築くために必要となる基礎的な力を養う。
- ・道徳科と特別活動、体育科、学校生活全体で、SOSの出し方に関する教育を実施し、生命（いのち）の安全教育としてプライベートゾーンへの理解や “いのち” や健康の大切さ、自他を尊重する気持ちを育てる。
- ・自尊感情、自己肯定感を高め「いじめ」を許さない学校として、児童理解や保護者との関係を密にし、早期発見、早期対応に努める。
- ・児童の様子に気を配り、小さな変化にも気付くことができるよう日頃から児童理解に努め、ひばり学級の担任はもとより関係機関との連絡を密に行い、不登校の未然防止、早期対応、長期化への対応を図る。
- ・日常生活の中で、自分で選んだり決めたりすることを大切にし、自己決定の力を付ける。
- ・「人権教育プログラム」を活用し、児童の他者意識や他者理解力を育成し、児童一人一人の人権感覚を高める。
- ・あらゆる場面を想定した避難訓練、「防災ノート～災害と安全～」、「安全教育プログラム」、「東京マイ・タイムライン」を活用し、災害から身を守るための準備をし、災害に対する意識、実践力を高める。

(3) 進路指導の重点

- ・保育園・幼稚園等との連携を基に、スモールステップで学習内容に取り組み、安心して学校生活をスタートできるようにする。
- ・社会の一員として自立できるよう、必要な基本的な生活習慣を身に付けさせ、社会性を育てる。
- ・中学校の見学や体験入学を計画的に進め、中学校生活を具体的に知る機会とするとともに、将来への夢や希望がもてるような適切な進路指導を行う。
- ・保護者との共通理解の基で、特別支援学校と交流の充実を図り、児童一人一人の実態に応じた進路や、将来の方向性を考える

3 教育目標達成のための特色ある教育活動・その他の配慮事項等

- ・「安心できる学校」プロジェクトの具現化に向け、「ひのスタンダード」に基づく学校環境の構築を図り、全ての児童が居心地のよい学校・学級環境を目指す。
- ・コミュニティ・スクールとして、学校・家庭・地域における情報の共有を図り、互いに支え合う学校をつくる。
- ・安全教育の充実を目指して、自ら適切に判断し主体的に行動する児童の育成に努める。
- ・「防災デー」に参加し、地域コミュニティを基に防災意識の向上を図る。
- ・通常の学級、ことばの教室「たんぼぼ」、特別支援教室、リソースルーム等との連携を図り、協働的な学び・質の高い教育を推進する。

- ・学校 2020 レガシーの取組を継続し、礼法や和太鼓の学習及び障害者理解教育の推進を図る。
- ・タグラグビー教室、空手道体験教室、ものづくり教室等地域人材を活用した教育活動を推進する。
- ・情報モラル教育を通して、一人1台学習者用端末等の適正な活用についての意識を高める。
- ・保育園・幼稚園等との連携を基に、安心して学ぶ環境や学習内容を整え、学校生活をスタートできるようにする。
- ・教育活動全体の中の具体的な場面での指導を通し、生命の尊さや思いやりの気持ちを育む。
- ・全校朝会でひばり学級について発表する機会をつくり、ひばり学級の表現力を高める場とするとともに、全校児童がお互いに認め合えるようにする。
- ・通常の学級の3年生と年間を通した交流活動を行う。お店屋さん活動等や和太鼓の発表活動の参加を通して、互いに理解を深められるようにする。また、行事等を通して同学年との交流活動を行う。
- ・栄養のバランスや規則正しい食生活の大切さについて学ばせ、味覚の幅を広げることで偏食を改善し、食に対する意識を高める。
- ・教師間で指導前に児童の課題や心理的な状況及び指導の手だてを共通理解し、役割分担を明確にし、効果的な指導を行う。
- ・他の特別支援学級や特別支援学校との合同行事等に参加し、児童・生徒間、及び教師間の交流を図る。
- ・学級だより、連絡帳、学校公開日、保護者会等を活用し、家庭と緊密な連携を取り学校と家庭が一体となった教育環境をつくる。

4 授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

学年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1		17	20	21	14	5	20	22	18	19	16	18	16	206
2		17	20	21	14	5	20	22	18	19	16	18	16	206
3		17	20	21	14	5	20	22	18	19	16	18	16	206
4		17	20	21	14	5	20	22	18	19	16	18	16	206
5		17	20	21	14	5	20	22	18	19	16	18	17	207
6		17	20	21	14	5	20	22	18	19	16	18	16	206
備考		・第5学年は、卒業式に出席するため、第1～4学年、第6学年より1日増 ・振替休業日のない土曜日授業の日数は、0日。												

(2) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動、各教科等を合わせた指導の年間授業時数配当表

① 各教科

教科名		学 年	1	2	3	4	5	6
各教科	国 語							
	社 会							
	算 数							
	理 科							
	生 活							
	音 楽							
	図 画 工 作							
	家 庭							
	体 育							
	外 国 語							
知的障害者 教育を行う 特別支援学 校の児童に 対する各 教科	内 容							
	生活							
	国語	話す、聞く、文字の読み書き、物語文・説明文の理解、文章表現等	205	210	210	225	225	225
	算数	数の仕組み、計算、かさ、長さ、重さ、図形、時計の読み、お金等	135	140	155	175	175	175
	音楽	歌唱、鍵盤ハーモニカ、リコーダー合奏、身体表現 リズム等	65	70	70	70	70	70
	図画工作	描画、工作、造形遊び、鑑賞等	70	70	70	70	70	70
	体育	基本的な運動、道具を使った運動、水の中での運動等	105	105	105	105	105	105
小 計		580	595	610	645	645	645	

② 道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動

内容・学年	内 容	1	2	3	4	5	6
道徳科	生命の尊さ、思いやり、人ともよいかかわり等	3 4	3 5	3 5	3 5	3 5	3 5
外国語活動	英語の歌、リズム遊び、ゲーム 挨拶、身近な単語、アルファベット等	(5)	(5)	1 0	1 0	1 5	1 5
総合的な学習の時間	和太鼓、交流及び共同学習、情報、地域学習等			7 0	7 0	7 0	7 0
特別活動	係活動、話し合い活動、学級レクリエーション等	3 4	3 5	3 5	3 5	3 5	3 5
自立活動	コミュニケーション能力の育成、ソーシャルスキルの育成、手指の巧緻性の向上等 (各教科等の中で実施)						
小 計		6 8	7 0	1 5 0	1 5 0	1 5 5	1 5 5

③ 各教科等を合わせた指導

内容・学年 指導の形態	内 容	1	2	3	4	5	6
日常生活の指導	食事、衣服の着脱、排泄、清潔等 (全教育活動の中で実施する。)						
遊びの指導							
生活単元学習	自然、社会、友情、歩行学習、調理学習、季節学習、行事学習、いのちの学習等	2 0 2	2 4 5	2 2 0	2 2 0	2 1 5	2 1 5
小 計		2 0 2	2 4 5	2 2 0	2 2 0	2 1 5	2 1 5

(3) 年間総授業時数

年間総授業時数 (①+②+③)	1	2	3	4	5	6
	850	910	980	1015	1015	1015
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・1 単位時間 4 5 分。 ・第 1 学年はスタートカリキュラム年間 1 4 時間 15 分を余剰時間で 2 1 時間 30 分を教科等の時間に位置付けて実施する。 ・クラブ活動 (6 0 分) と委員会活動は、総授業時数外で実施する。クラブ活動は 6 0 分授業とし、1 2 回で 1 6 時間。 ・総合的な学習の時間の名称は、総合的な学習の時間とする。 ・第 1 学年、第 2 学年は年間 5 時間の外国語活動を余剰時間で実施する。 					

4 学校行事

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
日	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事
1	火		木		日		火		金		月	
2	水		金	避難訓練(引き渡し)	月		水		土		火	社会科見学(5)
3	木		土	憲法記念日	火		木	日光移動教室始(6)	日		水	
4	金		日	みどりの日	水		金		月		木	避難訓練
5	土	春季休業日終	月	こどもの日	木		土	日光移動教室終(6)	火		金	
6	日		火	振替休日	金	多摩特研交流会	日		水		土	学校公開 道徳授業地区公開講座
7	月	始業式 入学式	水		土		月	振替休業日	木		日	
8	火	給食始(2~6)	木		日		火	安全指導	金		月	振替休業日
9	水	定期健康診断始	金		月	避難訓練	水	避難訓練	土		火	安全指導
10	木		土		火	開校記念日 安全指導	木		日		水	
11	金		日		水		金	SOSの出し方に関する教育(5)	月	山の日	木	
12	土		月		木		土		火	閉庁日始	金	
13	日		火	安全指導	金		日		水		土	
14	月	給食始(1)	水		土		月		木		日	
15	火	安全指導	木	自転車安全教室(3)	日		火		金	閉庁日終	月	敬老の日
16	水		金	社会科見学(6)	月	八ヶ岳移動教室始(5)	水		土		火	
17	木	国学調(6)	土		火	八ヶ岳移動教室終(5)	木	給食終	日		水	
18	金	避難訓練	日		水		金	終業式	月		木	ひばり宿泊始
19	土		月		木		土		火		金	ひばり宿泊終
20	日		火	定期健康診断終	金		日		水		土	
21	月	市学調(5) 家庭訪問始	水		土		月	海の日 夏季休業日始	木		日	
22	火		木		日		火		金		月	
23	水	交通安全教室(1・2) 家庭訪問終	金	学校公開日始 セーフティ教室	月		水		土		火	秋分の日
24	木	個人面談始	土	学校公開日終	火		木	夏季学習会始	日	夏季休業日終	水	
25	金		日		水		金		月	始業式	木	
26	土		月	振替休業日	木		土		火	給食始	金	
27	日		火		金	校外学習(3)	日		水		土	
28	月	個人面談終	水	体力テスト始	土		月		木		日	
29	火	昭和の日	木	体力テスト終	日		火		金	演劇鑑賞教室	月	
30	水		金		月		水	夏季学習会終	土		火	
31			土				木		日			

月	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
日	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事
1	水		土	東京都教育の日	月		木	元旦	日		日	
2	木		日		火	避難訓練	金		月		月	避難訓練
3	金	避難訓練	月	文化の日	水		土		火	避難訓練	火	
4	土		火		木		日		水		水	
5	日		水		金		月		木		木	
6	月		木	生活科見学(1、2)	土		火		金		金	災害体験者から学ぶ教室
7	火	安全指導	金		日		水	冬季休業日終	土		土	
8	水		土		月		木	始業式	日		日	
9	木		日		火	安全指導	金	給食始	月		月	
10	金		月	水泳指導始	水		土		火	安全指導	火	安全指導
11	土		火	安全指導	木		日		水	建国記念の日	水	
12	日		水	避難訓練(二次避難)	金	合同学習発表会	月	成人の日	木		木	
13	月	スポーツの日	木		土		火	安全指導	金		金	
14	火		金	学習発表会(児童鑑賞日)	日		水		土		土	
15	水		土	学習発表会(保護者鑑賞日)	月		木	避難訓練	日		日	
16	木		日		火		金		月	水泳指導終	月	
17	金		月	振替休業日	水		土		火		火	
18	土	運動発表会	火		木	買い物学習	日		水		水	
19	日		水		金		月		木		木	
20	月	振替休業日	木		土		火		金		金	春分の日
21	火		金	個人面談始	日		水		土	学校公開 防災デー	土	
22	水		土		月		木	歩行学習	日		日	
23	木		日	勤労感謝の日	火		金	薬物乱用防止教室(5)	月	天皇誕生日	月	給食終
24	金		月	振替休日	水	給食終	土	ひのっ子作品展始	火	振替休業日	火	卒業式
25	土		火		木	終業式	日	ひのっ子作品展終	水		水	修了式 離任式
26	日		水		金	冬季休業日始	月	校内書初め展始	木		木	春季休業日始
27	月		木	小学校連合音楽会(6)	土		火		金		金	
28	火		金	個人面談終 小学校連合音楽会(6)	日		水		土		土	
29	水		土		月		木		\			日
30	木		日		火		金	校内書初め展終 学校公開日				月
31	金	校外学習(4)		水		土		火				